

# 来週の「売り物」記事はこれ



2011年4月8日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 東日本大震災 暮らしどうなる？ くらしナビA面 連載中

まもなく震災から一カ月たつのを節目にあの日、首都圏で帰宅難民となった人たちがどう行動したかを振り返り、今後どう備えるべきかを探ります。また魚から放射性物質セシウムが検出された事態をどう見るか、被災地に取り残されたペットの問題……についても報告していきます。



## 希望新聞 朝刊で掲載中



被災地に役立つライフラインの情報をお届けしている希望新聞を、12日から模様替えします。ボランティア情報を充実し、現地で働くリーダーや経験者が支援の現状やニーズを伝えます。また「伝言板」コーナーを新設し、探し人情報や困っていること、感謝のメッセージを広く受け付け、発信します。

## プロ野球いよいよ開幕

東日本大震災の影響で延期になっていたプロ野球は、12日にセ・パ両リーグがそろって開幕します。今季は、全選手がヘルメットに「がんばろう！日本」の復興ロゴマークを張ってプレー。本拠地が被災した楽天は、「がんばろう東北」の言葉を袖に縫いつけて戦います。楽天の初戦は、千葉・QVCマリンフィールド＝写真＝で、ロッテが相手。エース岩隈が期待を背負って先発します。熱い思いのこもる試合の様子は今季も、運動面でお楽しみください。



## 東北のスポーツ 復活へ歩み ——

## 運動面企画「インサイド」で被災地ルポ 10日から連載



東日本大震災は、東北のスポーツをも激しく痛めつけました。1カ月が過ぎる今、スポーツ界の人々も少しずつ復旧を目指して歩み始めようとしています。工場が津波に襲われた社会人野球の日本製紙石巻、本拠地で開幕を迎えられないプロ野球・楽天イーグルス、「鉄人」を生み出した町が大打撃を受けたラグビーの釜石シーウェイブス——。苦難の状況から、地域を勇気づける存在に復活しようとするスポーツ人の動きを追いかけます。「光を求めて」のタイトルで、10日から運動面のインサイドで連載します。

自粛モードの花見に酒場……

## “東北の玄関口、上野で考える東日本大震災

夕刊特集ワイド面 12日(火)

未曾有の悲劇に、この列島に住むすべての人たちが立ちすくんでいます。今、季節は春——。ふだんであれば、花見、新人歓迎の飲み会などで、何となく心浮き立つシーズンですが、「祈り」が列島を覆っているのでしょうか、今年だけはどこもかしこも静まりかえっています。石川啄木が「ふるさとの訛りなつかし」と詠んだ上野駅は、東北への玄関口。今でも東北の郷土料理店が軒を連ねています。そして、上野といえば上野公園での花見……。大震災でおびただしい命が奪われた岩手県陸前高田市出身の歌手、千昌夫さん、上野ゆかりのノンフィクション作家、小沢信夫さんの2人の話を通して、「東京の東北」、上野から東日本大震災を考えました。



“知りたいが分かる、がモットーの「特集ワイド」に、ご期待下さい。

紙面事情などにより掲載日が変更になることがあります。